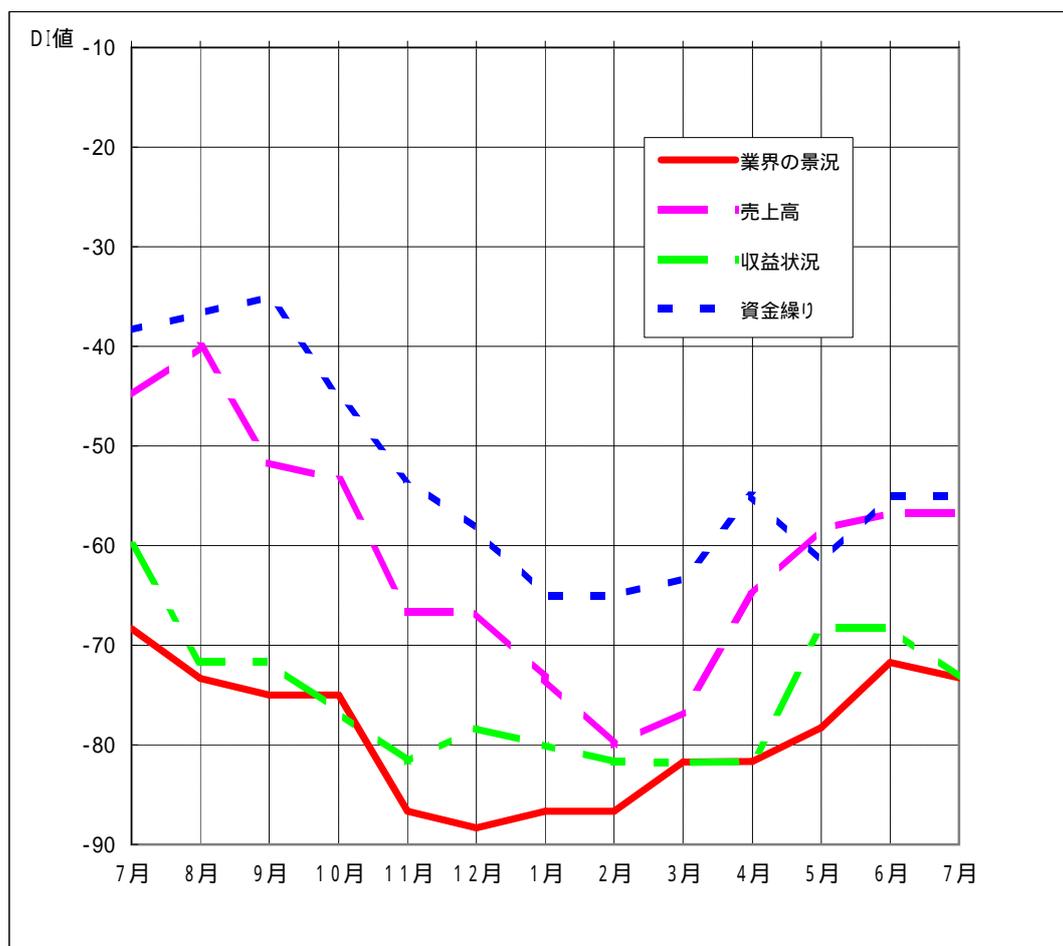


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成20年7月～平成21年7月

単位:ポイント



	H20					H21							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-68.3	-73.3	-75.0	-75.0	-86.7	-88.3	-86.7	-86.7	-81.7	-81.7	-78.3	-71.7	-73.3
売上高	-45.0	-40.0	-51.7	-53.3	-66.7	-66.7	-73.3	-80.0	-76.7	-65.0	-58.3	-56.7	-56.7
収益状況	-60.0	-71.7	-71.7	-76.7	-81.7	-78.3	-80.0	-81.7	-81.7	-81.7	-68.3	-68.3	-73.3
資金繰り	-38.3	-36.7	-35.0	-45.0	-53.3	-58.3	-65.0	-65.0	-63.3	-55.0	-61.7	-55.0	-55.0

7月のDI値は、前年同月比で見ると全項目で悪化した。「業界の景況」DI値は - 5ポイント悪化し、また「売上高」DI値は - 11.7ポイント、「収益状況」DI値は - 13.3ポイント、「資金繰り」DI値は - 16.7ポイントそれぞれ悪化した。前月比で見ると、上向き状態にあった「業界の景況」及び「収益状況」DI値は再び悪化した。なお、「売上高」DI値は本年2月を底に上向き状態であったが、6月以降は停滞状態となっている。

組合の特記事項からは、製造業では一部自動車関連企業で受注持ち直しの動きがあるとの声も聞かれるが、全体的に受注数の落ち込み、価格の下落に悩まされているようだ。非製造業では、卸売業、小売業、サービス業等では長引く不況で個人消費の低下を受けて、業績が悪化している。マスコミ等の報道では景気の下げ止まりなどと報道されているが、本県においては、総体として依然厳しい状況が続いているものと思われる。